



県議会議員 4 期目の仕事

2023 年、県議会議員 4 期目がスタート。県民の皆さんの負託にこたえるため、全力投球をしてきました。今回は、4 期目の仕事を紹介させていただきます。

2026 年

『かながわ宇宙ビジョン』の策定を提案

「神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議」が、施策の方向性を示す「かながわ宇宙ビジョン」をまとめました。人工衛星の開発・製造拠点が集積している強みを生かして衛星の製造に携わる企業や研究機関の束ね役となるよう求めたほか、豊富な専門人材を活用すべきなどとしています。

私は代表質問で、今後の方向性について有識者会議から提言してもらうよう提案。知事は「本年 8 月以降を目途に、県が目指すべき方向性を提言いただきたい」と答弁していました。

神奈川宇宙
ビジョン



フュージョンエネルギー、県議会で初めて取り上げ



「地上の太陽」とも呼ばれるフュージョンエネルギー。燃料 1 グラムのエネルギーから石油 8 トン分のエネルギーを得ることができ、二酸化炭素や高レベル放射性廃棄物が排出されず、主な燃料となる重水素は海水から無尽蔵に取り出せるため、「夢のエネルギー」と言われており、現在、フランスにおいて、巨大な核融合実験炉「イーター」の建設が進められています。

私は県議会で初めてこのテーマを取り上げ、知事に所見を聞きました。知事は、いくつかの課題は指摘しつつも、「脱炭素社会に必要な次世代技術の一つとして認識しており、できるだけ早期に実用化されることを大いに期待している」と答弁しました。

2025 年

第 119 代副議長に選出

2025 年 5 月、神奈川県議会の第 119 代副議長に選出いただき、議会として物価高騰や災害などの対策に取り組みました。

県営団地の共益費、8 団地で県が代行集金

県営団地の共益費（共用部分の電気代、水道代等）を、自治会に代わり県が集金できるよう取り組んできました。その結果、県は 2023 年に県営住宅条例を改正。その後、大和市のいちよう下和田団地など 8 団地で、県による徴収の合意が図られ、2025 年度からスタートしました。

県では、共益費を徴収して業務を代行できる範囲を 2027 年度から草刈りや清掃などにも拡大する予定です。



带状疱疹ワクチン、定期接種化がスタート

皮膚に痛みや、かゆみを伴う発疹が帯状に現れる「带状疱疹」。

この带状疱疹を予防するワクチンについて、2025 年 4 月から定期接種化がスタートしました。国内で使用されるワクチンは、経済的な負担の重さから接種をためらう人が多くおられました。

そこで公明党は、希望する高齢者の方々が一人でも多く接種を受けられるよう、県議会の意見書や質問、国会質問などで定期接種化を強く求めてきました。

詳しくは、大和市のサイトからご覧ください。

带状疱疹
ワクチン

